

立命館大学文学部卒業論文題目

実用性と芸術性の狭間から見る建築の本来性

鷺足 遥平

動物倫理の視点から見る人間存在について。

北中実希子

日本におけるロボット倫理学について

毛塚 允
佐伯 まや

死の扱われ方について

「かざり」から見る「あそび」の要件 永島 崇史

人間の生の尊さの根拠はどこに求められるか

―認知症患者とそのケアから考える― 西野 蘭

〈動物〉の倫理における功利主義の限界と共感可能性

丸草 慶人

アリストテレス

岡本 捷平

～ニコマコス倫理学～

初期ギリシア哲学 タレス 鈴木 杏奈

川上哲治の野球哲学 高木 一希

哲学者サルトルにおける実存の研究 安田 貴将

ベンサム功利主義における少数者の自由 足利三智子

J・S・ミル『自由論』における自由原理の合目的性についての検討

東 麗美

リバタリアニズムが捉える自己所有権についての検討

綾城 那美

アリストテレスの倫理的徳について

石澤 葵

アリストテレスにおける自己愛と他者愛

岩崎 玲奈

自殺論およびその背景思想

―トマスとヒュームの対比を通じて― 溝口 英

アリストテレス倫理学における幸福の概念

森下 響暉

時間の経過における自我の同一性について

―ベルクソン時間論からの考察― 八木 仁美

他者を助けるために何ができるのか 谷村 侑子

現象学と自己喪失 松宮 陽平

他者と自我 三原成三郎

西田哲学における自己の探求 大石 卓矢

現代社会における最善説の意義について 佐古 大地

言葉への応答

―ハイデガーにおける「言葉との呼応的対話」を通して―

菅沼 佑次

心・身体・外界の三者関係について 棚原 瑞希

哲学者が見る教育と現代の教育 塚本 旭彦

他者論におけるミラーニューロンシステムの射程

とその展望 長谷川 奨

理性の基礎づけについて

―実存論的視点からの解釈― 畑 朋宏

「真の自己」を問うということ

―上田閑照による『干牛図』解釈からみる自己実現論―

後悔について 坂野百合子

キルケゴールにおける自己の尺度と負の感情について

松石勇太郎

吉永 恒輝

哲学専攻

アランの幸福論について 葛谷 睦未

ドゥルーズにおけるモンタージュとリトルネロ 内田 貴大

人はなぜケアをするのか 岩崎 遊

実存主義におけるモラル論について 大石 圭介

なぜ神の存在論的証明は論理的整合性を失わないのか 角野 行哉

両義性と可逆性メルロ＝ポンティの身体論とその射程 北村佳付真

『啓蒙の弁証法』におけるミメーシス概念の在り方について 佐竹 範子

笑い論

～ベルクソン、フロイト、バフチンの思想を調和させる試み～ 津田 康平

ミシェル・フーコーの思想的断絶について 中川 瑠璃

ガダマー解釈学におけるハイデガー理解について 中里 有貴

ガダマー・デリダ論争より 中村 緋乃

デカルトの形而上学

- 安楽死はいかにして肯定されうるか 田中 宏史
 ハンナ・アーレントにおける公共性の概念
 —言葉の困難に際して— 片石 瑞恵
 脳死臓器移植のためにDDRは破棄されるべきか
 —Truog & MillerのDDR撤廃論の検討— 林 梨夏
 専門職としての司書職と日本の公共図書館 松岡 愛香
- 教育人間学専攻**
- 『グリム童話集』における兄と妹の登場するメル
 ヘンの人間学的考察 石丸可奈子
 人はなぜAKB48に惹かれるのか
 —AKBプロジェクトの教育人間学的考察— 内田 光紀
 教育者吉田松陰の今日的意義 浦野幸一郎
 —教育とカウンセリングの連携— シュタイナーの教育思想 加計 道佳
 —幼児教育の実践・展開— 『グリム童話集』における「母親が転生する話」 澤田あずさ
 の教育人間学的考察 伊藤 嘉宣
 薄れゆく食 一いのちを食べる人間の営みを捉え直す— 鶴飼 理子
 自己の多面性と一貫性 —その共存の可能性を探る— 日本 洋平
 服装と個性の関わりについての考察 大林 洋平
 —鷺田清一の衣服論をてがかりにして—
- 人間の成長について
 —「ヒト」ではなく「人」となるには— 尾垣 義之
 「かなしみ」を取り戻す —センチメンタリズムを越えて— 奥村 美奈
 幸せを感じるということ —ポジティブ心理学を手がかりにして— 楠 千尋
 現代における自己実現とは —マズローの自己実現理論を手がかりにして— 竹松 杏子
 自由な学びとは何か —サドベリー・バレー・スクールを手がかりにして— 知土 崇俊
 人間にとって「美」とは —バタイユの思想を手がかりに— 中島 綺音
 「在る」ということ —生きる意味についての一考察— 中村 珠久
 生徒指導に関する一考察 —子どもとのコミュニケーションの重要性— 林 春菜
 デジタル・ネイティブ時代をアナログに生きる —ケータイにおけるコミュニケーションについての一考察— 林田 香乃
 スポーツの意味を考える —人間形成の視点から— 八代 和真
 人間が聖地に赴く意味 —熊野詣を通しての一考察— 吉川 明子
 日本の学校教育とシュタイナー教育の比較検討 —個に応じた取り組みに視点を当てて— 浅井 良樹
- キャリア教育の現状と今後
 —大学から高校のキャリア教育を問い直す— 浅田すみれ
 子どもに必要な学力 岩田 茉緒
 発達障害をもつ生徒に対する支援 —中学校における支援とその後— 大原 惟
 名古屋市トワイライトスクール事業と学童保育の今後の発展可能性 齋藤 雄也
 生徒の相談チャネルとしての教師 —信頼関係とコミュニケーションスキル— 澤田 楓
 言語コミュニケーション能力についての現状とそ の育て方 土井真衣子
 不登校生徒の理解と支援 —中学校における不登校生徒への支援と居場所— 中川 春登
 自己肯定感と思春期の母子関係 —青年期における母親との出会い直し— 福田 優
 青年の政治意識と政治参加の回路 —大学生の社会運動に焦点を当てて— 藤岡 智海
 青年期における自傷行為と自己形成 —中学校から大学の変容プロセス— 森田 翔子
 公教育における教育格差の是正 —学校教育へのICT機器導入の観点から— 柳 大地
 子どものおそと付き合う大人 —日曜学校の取り組みから— 河 美善
 真剣に生きるとは。 —サッカーへの専心体験を通して— 赤松 知明

人生の後悔を乗り越えて生きるには

～祖母の死を通しての一考察～

奥村有寿紗

青年期の自己成長

～インナーチャイルドに着目して～

武田 紗樹

『伊勢物語』における惟喬親王についての考察

鈴木 希実

諦める心を乗り越えるには

～否定的な目的を持つ生き方の改善にむけて～

岸本 瑞妃

子どもの愛着形成

～私と祖母との関係の一考察～

中村 早織

『夜の寝覚』の中の君と「月」の関係についての考察

星屋 玲子

「良い」母親とは何か

自分にとつての「あたたかい人」を失った後、人はどう生きることができるか

北原 明己

私の存在価値

～他人への違和感を手がかりに～

水谷 遥

『源氏物語』の空蟬という女性について

山村 実香

競争社会において自分らしく生きるとは

「家業」を継ぐということ

笹川 鳩未

非行と家庭環境

言葉にできない私を探す

安井 健太

江戸戯作における画文の交歓

異常出生譚「桃太郎」について

徳本真由子

人間形成におけるトイレの意味について

家族関係を通しての人間形成

古藪 舜

MOTHER

韓 承憲

北斎の浮絵

松谷みよ子『ちいさいモモちゃん』論

田 承恩

「自分らしさ」とは何か

「私」という人間を考える

吉田 有彩

日本文学専攻

寶里 有夏

「自分らしさ」とは何か

スポーツ心理

和田くるみ

万葉集における磐代信仰

古事記に見るスサノヲの神性

松本 寛

湊かなえ『母性』論

宮崎吾朗「コクリコ坂から」論

青島佳おり

「私」という人間を考える

「私」という人間

関岡 真衣

『万葉集』巻十三・三二四五～三二四七番歌考

万葉集一六〇番歌の結句の訓についての考察

池田 愛依

山田風太郎「戦中派不戦日記」論

金原ひとみ『蛇にピアス』論

榎原 千佳

～日本的、西洋的精神構造の在処～

自己の教育人間学的分析

常木 光子

万葉集巻十・二〇六五番歌「玉」考

万葉集巻十・二〇四一～二〇六一番歌考

伊藤 佑仁

伊坂幸太郎作品における復讐譚

三島由紀夫「禁色」論

火宮 寿里

～新しい関係を目指して～

家族分析

石川 舞

万葉集巻十・二〇六五番歌「玉」考

万葉集巻十・二〇四一～二〇六一番歌考

田中 萌

「私の男」における淳悟と花の家族観と男女観について

宮崎駿の戦争観とその作品における戦争表現について

藤 真知恵

～集団における意思決定に焦点を当てて～

人間の意思決定のメカニズム

太田 拓弥

万葉集「もみち」考

～巻十二・二〇五番歌を中心に～

富永早也香

宮崎駿の戦争観とその作品における戦争表現について

いて

虫鹿 正隆

～自己肯定感を育てる教育～

生きる力をはぐくむ

奥田 康介

万葉集巻一・三三三番歌における「国つ御神のうらさびて」考

～巻十二・二〇五番歌を中心に～

林 ひかり

宮本輝「泥の河」論

坂口安吾の桜の森

山本 千尋

～自己肯定感を育てる教育～

家族の仮面に迫る

酒井 綾子

『古事記』における月讀命―その役割と性質

～巻十二・二〇五番歌を中心に～

松井 千祐

吉川宏志『青蟬』論

～男性歌人が詠む妊娠・出産～

金 炫志

～自己肯定感を育てる教育～

家族の仮面に迫る

隅野 沙弥

『古事記』における月讀命―その役割と性質

～巻十二・二〇五番歌を中心に～

森下 美奈

山本 航

- 宮沢賢治『どんぐりと山猫』論 清瀬 涼子
 向山貴彦『童話物語』登場人物から主人公への影響 『人間失格』論 沢野久雄「夜の河」論
 — 宗教と神話の観点から — 有山 葉子 三島由紀夫『春子』論 亀永 和希
 宮沢賢治『土神と狐』論 池田真由美 遠藤周作『海と毒薬』論 亀村 真惟
 浅田弘幸『テガミバチ』論 岩上 理佐 三島由紀夫『金閣寺』論 木原 啓佑
 あまんきみこ『おにたのぼうし』論 江本 有希 宮澤賢治『注文の多い料理店』論 久保田みき
 森見登美彦と京都観 柏子見のほら 谷川俊太郎論 黒田優里香
 尾崎放哉論 川口 奈菜 庄司薫『赤頭巾ちゃん気をつけて』論 小林 綾佳
 「家族ゲーム」論 笹沼 彩花 堀辰雄『風立ちぬ』論 西川 千晶
 佐藤春夫「田園の憂鬱」論 梶井基次郎論 村上春樹『水男』論 西郡 麻央
 — 妻と作家の文学 — 新立 隼也 芥川龍之介「雛」論 三浦 歩
 小川未明『赤い蠟燭と人魚』論 高木 佑果 宮沢賢治『どんぐりと山猫』論 山田奈生子
 — お爺さんとお婆さんを中心に — 田向 麻耶 千早茜『白梅虫』論 松田 和香
 『女王蜂』の道具の効果と個々の愛について 中島敦『山月記』論 矢尾 文奈
 田中 亜実 大鏡の藤原道長像 岩元 俊隆
 Magica Quartet『魔法少女まどか☆マギカ』論 — 怪異譚から読み取る大鏡 — 内橋 裕人
 北園克衛『白のアルバム』論 『大鏡』研究 小日置 愛
 — デザインの拠所について — 一侍の「語り」を中心に 白鳥 智裕
 司馬遼太郎が作り上げた沖田総司像 朴 志賢 『大鏡』「兼家伝」の考察 谷口 凌
 芥川龍之介『桃太郎』論 藏本宗太朗 豊語型オノマトペとリ型オノマトペの使用実態 杉尾 千晶
 樋口一葉『十三夜』論 浅野 李帆 接尾辞「ーぼい」についての研究 竹迫 千春
 二人の稚児論 石田 和大 「脚本」の類義語の使用実態について 田中 里彩
 江國香織の描く〈愛〉 — 「デューク」・「草之丞の話」より — 謝罪表現の研究 豊島 有希
 谷崎潤一郎『少将滋幹の母』論 圓月 星子 明治・大正期における外来語表記の研究 藤本 能史
 坂口安吾「白痴」論 大西 洋平
- 類義の擬態語「あっさり」「さっぱり」「すつきり」について 山本万里菜
 言葉に対する意識調査 横場 郁湖
 教材「山月記」の語彙研究 渡邊 早紀
 接尾辞「がる」の研究 李 エスル
 江戸時代における心中物についての考察 相澤 寧々
 「宇治の橋姫」考
 — 「伽婢子」を中心に — 居川 珠子
 アワシマ明神とひな流しについての研究 宇垣 琢朗
 口裂け女の誕生に関する考察 大坪 理
 「北越奇談」に見る「橘崑論」の人物像 神吉 絢子
 鹿の鏡井戸伝説の研究 下田 佳奈
 夢枕獏『陰陽師』の安倍晴明と源博雅 田淵穂野花
 神木としての桜 — 『孝子桜』の伝説を中心に — 津倉はるな
 大阪北摂地方の「二恨坊火」伝承の研究 二木満理奈
 「猫の踊り」伝承と手拭いの関係性 森岡 幸乃
- 中国文学専攻
- 『礼記』の喪礼と祖先祭祀について 植田 恵子
 — 儀礼の伝統性を考える —
 『詩経』における服飾品の色彩描写
 — 歌謡での「あなた」の表現として — 大塚 実咲
 孟子晩年の心境について 大島 愛
 水戸学の尊皇攘夷思想に影響を与えた中日の思想 桜井 尚貴
 曇鸞と道教の関係 佐藤 正和

- 「離魂記」と魂 田所 貴久
『三国志演義』における荊州の重要性 中田 健太
ドラマに見る、中国の結婚事情 赤根川友里
『搜神記』における北斗星と南斗星の考察 中国のスポーツ政策
—生死を司る二星の神— 一瀬 遥菜
—中国のサッカーはなぜW杯に出場できないのか—
蒲松齡と『聊齋志異』 中国における食品安全制度と「食」 樋口 侑花
—花妖譚を中心として— 中国の戸籍制度について 藤橋 里奈
白居易と長恨歌 大井 美穂 中国野球の現状と可能性
『聊齋志異』 寛 文乃 日本プロ野球と比較して
—異類の女との恋愛— 丸藤 詩織 台湾野球と日本野球との関わり
中国とその近隣諸国の情報規制 上西 史高 現代中国における食品安全問題
山海経に登場する妖怪について 宮本 紗代 中国人の「食品安全」への意識
『列仙傳』の中の仙人像 横尾 聡美 日本統治時代の教育が台湾に与えた影響
「かんざし」と女性 —初等教育に於ける言語教育及び修身教育を中心として— 竹内裕美子
—「全唐詩」における頭部装飾品の表現—
「うぶめ」に見る中国伝来の妖怪文化について 福山 あい
カナダにおける中華系移民の問題 若尾 彩加
北京における大気汚染 浅井 泰介
メディアでの曹操の移り変わりとして作者の想い 伊藤佳菜子
中国人富裕層のブランド志向 E. M. Forster, *A Room with a View* 研究
—登場人物の役割— 市川 恵莉
—「富二代」「富三代」の未来— 影山 夏実 E. M. Forster, *A Room with a View* 研究
中国におけるバスケットボールの人氣 —Lucy が得たものと登場人物の影響力— 今井 智賀
—姚明が果たした役割— 木下絵里加 E. M. Forster, *A Room with a View* 研究
日本食文化を中国に伝える 御領 友貴 —価値観と精神的成長— 岡野 梓
中国戸籍問題による都市民・農村民の格差とその Oscar Wilde, *The Picture of Dorian Gray* 研究
解決策を考える 坂本 夏海 —ドリアン・グレイに影響を与えた人々と快楽主義— 岡本 裕司
一人っ子政策について 高須 智司

E. M. Forster, *A Room with a View* 研究

—roomとviewの対比に見るフォースターの理想

片岡 理佐

William Shakespeare, *Romeo and Juliet* 研究

—演劇のための技巧

北川 莉帆

E. M. Forster, *Maurice* 研究George Bernard Shaw, *Pygmalion* 研究

—作中に見られるイギリス社会の階級制

坂上 諒

Jane Austen, *Pride and Prejudice* 研究

—愛に対する価値観の比較

山祿 祐華

E. M. Forster, *Where Angels Fear to Tread* 研究

—Forsterのイタリヤ観とイギリス観

庄司あすか

E. M. Forster, *A Room with a View* における理想

の人間像

鈴木 菜月

Lewis Carroll, *Alice in Wonderland, Through the Looking-Glass* 研究

—アリス物語に反映されるルイス・キャロルの不安

と孤独 関 奈那子

E. M. Forster, *A Room with a View* 研究

—登場人物から見る階級思想と恋愛観

高森ふく美

E. M. Forster, *A Room with a View* 研究

—フォースターの階級意識

大樂 菜摘

E. M. Forster, *A Room with a View* 研究

—ルーシーはなぜ自身のviewを解き放つことができたのか

きたのか 趙 蘭水

Jane Austen, *Sense and Sensibility* 研究

—理性と感情の間で揺れ動く女性の結婚観

外山 史織

- J. R. R. Tolkien, *The Lord of The Rings* 研究
 —The Lord of The Rings における光と悪 仲 美咲
- The Picture of Dorian Gray* 研究
 魅力としての若さと美しさ、声と会話 中村 浩司
- E. M. Forster, *A Room with a View* 研究
 —シャーロット・バートレットの役割 古坂和佳菜
- Lewis Carroll, *Alice in Wonderland and Through the Looking-Glass* 研究
 —アリスから気づくキャロルの想い 前川 萌子
- E. M. Forster, *A Room with a View* 研究
 —ルーシーの成長とルーシーを取り巻く人物の役割 松岡 優衣
- E. M. Forster, *A Room with a View* 研究
 —ルーシーの選択と成長 森 実央
- J. M. Barrie, *Peter and Wendy* 研究
 —バリが描いた「子ども」と「大人」 渡辺 沙羅
- 『ロビンソン・クルソー』における思想の変化
 とその考察 長澤 智彦
- 行動的な復讐者ハムレット
 —台詞の解釈における変化と人物像の分析— 出口 遼
- Wilde 童話の中のノンフィクション 野上このり
- 『ハムレット』におけるクローディアスの悪 三上 浩平
- “The Happy Prince” における幸福 猪飼 麻希
- C. S. Lewis, 『ナルニア国物語』研究
 —フェアリー・テールとして書かれた『ライオンと魔法』について 井栗 千尋
- 『ドリアン・グレイの肖像』における快樂主義に ついて 上杉 治憲
- The Moon and Sixpence* 研究
 —主人公を通してみる作者の理想の生き方について— 牛島 歩
- 「地下室」における裏切り Maurice 研究 奥野愛里香
- 主人公の人間の成長と Forster の思想— 勝見 彩加
- The Picture of Dorian Gray* における「芸術と魂」 『ドリアン・グレイの肖像』におけるワイルドの魂の理想 東影 鈴子
- “The Happy Prince” 研究
 —Wilde の描いた理想と王子とツバメ— 平井 碧衣
- 『ドリアン・グレイの肖像』におけるドリアンの変化 Oscar Wilde の童話における自己中心性 古川 竣介
- “The Happy Prince” を中心に— 堀川 鈴
- Never Let Me Go* における生と死
 —限定された生を生きるということ— 松永 亜意
- 『ドリアン・グレイの肖像』研究
 —ドリアン・グレイの快樂と良心について— 松原 蓮
- 『月と6ペンス』における人間の矛盾 大橋 想
- ウィリアム・モリスの『世界のかなたの森』における寓意 井内美穂子
- 自然と文明の共存をめざして—
- Mark Twain, *Adventures of Huckleberry Finn* 論
 ～個人と社会～ 伊藤 雄
- J. D. Salinger, *The Catcher in the Rye* 研究
 —ホールデンの成長— 大塚 匡一
- F. Scott Fitzgerald, *The Great Gatsby* 研究
 —なぜギャツビーがグレートなのか— 奥山 実香
- Ernest Hemingway, *The Old Man and the Sea* 研究
 —ヘミングウェイが主人公サンチャゴに託した想い— 加納 侑士
- Anne Rice, *Interview with the Vampire* 研究
 —ヴァンパイアが物語るとは(ヴァンパイア)とか— 川島 幹也
- F. Scott Key Fitzgerald, *The Great Gatsby* 研究
 河内慎之介
- Anne Rice, *Interview with the Vampire* 研究
 —主人公ルイを通して見る作者の罪悪感からの解放— 河原 敬三
- ナサニエル・ホーソーン 『緋文字』論
 —ホーソーンが考える「罪」— 木下 恵
- J. Sheridan Le Fanu, *Carmilla* 研究
 —語り的手法がもたらす効果— 小林 祐樹
- Arthur Conan Doyle, *A Study in Scarlet* 論 佐々木裕隆
- Bram Stoker, *Dracula* 論
 —Stoker の女性観について— 佐々木 優

レ・フマニユの『カーミラ』研究

—主観的な語りで隠された作者の思ひについて

篠原 輝

View of a Human's Personality at Battlefield in
The Red Badge of Courage

新井 佑矢

A Study on Henry's Identity through His
Relationships in *Native Speaker* by Chang-
Rae Lee

方 彩源

Vampire 小説における女性像の考察

高木 彩耶

Fighting against Racism and Living One's Own
Life in *The Help* by Kathryn Stockett

光本めぐみ

The Function of Colors in Alice Walker's *The
Color Purple*

浅田 梨紗

Joseph Sheridan Le Fanu, *Carmilla* 論

堤 幹加

Importance of Retaining the Post of Literature
in Modern Society Perceived in *Fahrenheit
451* by Ray Bradbury

近藤紫緒理

A Study of Protagonist's Greatness in *The
Great Gatsby* by F. Scott. Fitzgerald

安部田和夫

—Carmilla のロマンス

畑 響太

F. Scott Fitzgerald's Consideration of the Jazz
Age as a Reaction to the Genteel Tradition in
The Great Gatsby

曾我 大悟

Tough 構文における主語と形容詞と補文の関係

性について

派生的結果構文における結果述語の認可条件につ
いて

Time-away 構文と結果構文の関連性

The Temporal Relations between Main Clauses
and Subordinate Clauses

There 構文の定性制約について

結果構文における日本語と英語の容認度の違い

結果構文における本動詞と結果述語の複合について

Nursery Rhymes における死の表象

日本史学専攻

律令制下における女帝の即位

律令国家における蝦夷政策の展開

—蝦夷の「公民」化記事の消失から—

弘法大師空海の高野山開創

安東 峻

武本 大地

浅野 咲

真鍋 悠

石原 理沙

高橋加奈代

真鍋 悠

石原 理沙

高橋加奈代

真鍋 悠

石原 理沙

高橋加奈代

知太政官事の再検討

―八世紀前半の王権と議政官との関係― 前田 諒
武士道という精神 古川 貴喜

日本中世の賭博について 中 元宏
女房装束の変容について 緒方 千紘

中世の病と医学 川浪 景子
―『明月記』を中心に―

中世における入浴空間の利用目的について 紀 光
幼児葬送について 後藤 友里

中世の馬の産地について 辰巳 有弘
太良莊埋樋の相論に関する考察―半済殿の指導的

立場について 谷口 新吾
後嵯峨天皇の後鳥羽追善仏事に対する捉え方 中川 聖也

異性装について 眞野ありさ
中世の陰陽師・陰陽道 校條 拓人

―鎌倉・室町を中心に― 森本 紗栄
出産と穢れ

『大乘院寺社雑事記』に見る中世興福寺新猿楽と 新保 雅浩
寺院組織

勸進にみる中世社会の階層性 相川 直毅
院政期における仏師と仏像観 伊藤 優

「鬼」と中世社会 江角 祐輔
―三大説話を中心に―

初期足利政権の政治体制 木下 佑哉
―「バサラ」をめぐる―

中世食文化についての研究 島崎 暉

『大乘院寺社雑事記』にみる中世奈良の民衆

中世後期祇園会の執行とその運営 高橋 江梨
戦国期の武家社会における「家」と女性 宮川 慶悟

―キリスト教との関わりから― 村瀬 示帆
織田信長の近江支配 植田 大貴

近世初期における酒の儀礼とその意義 近世初期における酒の儀礼とその意義 安久 直輝
―江戸城正月参賀に着目して―

近世日本と世界を繋げたプルシアンブルー 磯部 萌
近世中期における国家権力と普遍イデオロギーの創出

―白石と徂徠の礼楽構想を中心として― 大平真理子
萩藩宝曆検地の研究 柏田 直人

なぜ宝曆期に検地が行われたのか 近世後期における下級武士の子ども観 川北百合佳
―『桑柏日記』を足かけとして―

「元治の大火」における寺社の被害と復興 川端麻友美
―寺町一帯に注目して―

近世から近代にかけての旧小笠原藩校「育徳館」が生き残った理由について 高瀬 寛
―教育内容の変遷を中心に―

江戸後期における宇和島藩の権力確立 立石 峻
近世日本社会における施行に関する考察 寺田 巨輝

徳川政権の切り札、鎖国 梨木 雄太
『養生訓』と料理書にみる食養生論 藤原 由貴

江戸時代の服飾 的場 寛樹
近世における蹴鞠の研究 森川 裕基

近世における和算家の広がり立ち位置 横山 拓平

天神祭が大阪の人々に与えた影響 吉田 成和

正徳新例以前以後の唐船による抜け荷の比較分析 平沢 匡敏
台湾総督としての児玉源太郎 山下 真司

―児玉は台湾に夢をみたのか― 近代殖民都市の形成と地域コミュニティ 山西 歩
―明治後期・札幌大火とその原因―

明治前期地方官の民衆認識と地方経営に関する試論 高橋義雄の出世作『商政一新』に見る日本商業への提言について 伊故海貴則

―移行期を生きた関口隆吉を事例として― 模範国ベルギーと商業活動に対する一体感 大川 雅登

新貨条例から見る明治初期の財政危機意識 桑原 寿門
明治初期から中期における滋賀県の植林・治山 斎藤未由希

―緑を守り育てることへの挑戦― 空堀商店街におけるコミュニティについて 鈴木 寛人

本当は優しかった開拓使 益永 春陽
―アイヌ民族の生業に対する開拓使の政策展開―

「佐賀の技術」から「日本の技術」へ 吉岡 純也
―電信事業による日本近代化への貢献―

『日本立憲政党新聞』に見る立憲政党の女性観とその思想的背景について 岸田俊子
―「東洋の後塞徳夫人」のロジック―

山内 侑子

大正後期の愛知県の政治状況

浅野 啓

同盟通信社の国際報道とその影響

会話に懸けた男たち

日の記憶

―記憶と歴史の狭間に在るヒロシマの生成変化―

北村 純

―立石斧次郎と教え子の幕末維新―

樋口 拓也

大陸浪人宮崎滔天の思想

後山 剛毅
上村めぐみ

高度成長期における八幡堀保存運動の意味

日本植民地下での愛の形

『排除』が産まれるまでの道筋とその構造・要素

―近江八幡の町づくりは誰のためか― 澤崎 勇次
小林美登利の目指した「最も優秀なる伯国市民」とは

―一九二〇年代・三〇年代の台湾・朝鮮を視座として― 深川 明花

―いじめを事例に―

田中 優

―宗教・文化・教育の視点から― 白川ともか

―個と全の葛藤の狭間で― 山下 佑介

室町期の相撲の位置付け

荒賀 慶太

戦後マンガについての批判・規制について

幕末動乱期の京都所司代

北条早雲の今川氏における役割とその脱却

大松 祥徳

一九五〇年代はじめの紡績女工の生活

―京都守護職設置後の両者の関係と権能について― 横峯 昂

中世日本における商人と流通

溝渕 智史

―祖母の経験のオーラル・ヒストリー― 筒井 健吾

―中部高地の佐野式から水式にかけての事例研究― 北山 若奈

徳川家康家臣団における井伊直政の位置付け

勝間宥一朗

立命館大学における学徒出陣の研究

―中野高地の佐野式から水式にかけての事例研究― 妹尾 一樹

―関ヶ原合戦を中心に―

中西 健太

戦争と将棋界

縄文原体の変異の要因

浦上則宗権力に関する一考察

三木良頼の姉小路家継承活動の意義について

―棋士達の戦争協力と戦後の振る舞い― 三輪 峰大

―比叡山西南麓縄文遺跡群における後期土器を素材にして― 高野紗奈江

雑賀衆と雑賀一向衆についての再検討

平井 隼人

古都税問題が京都の観光の在り方をどのように変

縄文土器の貝殻背面圧痕

三好政長の政治的役割について

藤本 公也

―布哇殖民新聞―を中心に― 矢野 浩章

環状集落の民族的比較

明智光秀の丹波経略について

松本 尚之

―近代化の中での伝統への対応― 大久保由紀子

縄文土器の貝殻背面圧痕

16世紀における九州戦国大名と海のつながりにつ

宮本 昂輝

古都税問題が京都の観光の在り方をどのように変

環状集落の民族的比較

錦絵の中の戦争

伊東 淳美

古都税問題が京都の観光の在り方をどのように変

環状集落の民族的比較

―幕末明治初期を中心に―

占部佑美子

古都税問題が京都の観光の在り方をどのように変

環状集落の民族的比較

近代日本における「南洋」と「南方」

落合 高基

古都税問題が京都の観光の在り方をどのように変

環状集落の民族的比較

占領下における美しい暮しとは何か

加藤 紀夫

古都税問題が京都の観光の在り方をどのように変

環状集落の民族的比較

―花森安治を中心に―

修学旅行の萌芽

古都税問題が京都の観光の在り方をどのように変

環状集落の民族的比較

文明開化期における牛肉食の広がり

戸津川大悟

古都税問題が京都の観光の在り方をどのように変

環状集落の民族的比較

―和歌山県の事例を中心に―

安原 葵

古都税問題が京都の観光の在り方をどのように変

環状集落の民族的比較

―山科盆地を中心に―

安原 葵

古都税問題が京都の観光の在り方をどのように変

環状集落の民族的比較

―山科盆地を中心に―

安原 葵

古都税問題が京都の観光の在り方をどのように変

環状集落の民族的比較

奈良県九品寺における石仏群の分類とその性格に

ついて

清水 洗

中華とイスラームは対話できるのか

〜盛世才と新疆を例にとつて〜

越智 千尋

三峡ダム建設における中国の住民移転問題

増田 円香

石造狛犬からみる社会と時代の流れと人々とのか

かわり

池尻早耶香

西太后の生涯と医療

『慈禧光緒医方選議』と政治的事象から読み解く

小林つかさ

中国朝鮮族の変遷によるアイデンティティの変化

一九四五年から一九七六年の中国朝鮮族の民族教育の変化をめぐる

俞 仁善

色と模様からみる近代友禅染

―立命館大学所蔵友禅図案5群資料を中心に―

車谷 有梨

鳥山石燕「百鬼夜行」シリーズからたどる中国書籍

齋藤 日和

西安事件の真相

前期倭寇期の朝鮮と対馬

立田 和久

近代友禅図案に関する考察

―立命館大学所蔵友禅図案を中心に―

澤田 陽介

澶淵の盟について

杜牧と唐末社会

三藩の乱と清朝の関係について

住本 拓自

蕨手刀の源流

―頭椎大刀・方頭大刀との比較―

森田 雅史

坊市制の崩壊と侵街の形成について

山本 聖也

ソグド人の商業

林 美穂

風船爆弾からみる「総力戦」の実態

―女学生の戦争参加―

福永 光子

上海租界の都市行政

藤田 有子

―回鶻銭を中心に―

藤岡 保裕

東洋史学専攻

唐前半期の出征と御史帯職に関する一考察

服部 敦司

連合国軍による漢口爆撃

江口 遼香

両税法導入における政治的目的

池上 文

近代中国の貿易

大見 亮介

『水滸伝』の成立過程―食品からの考察

木村 悠

西王母説話が変遷していくことで人々の信仰に

どのような変化が生じたのか

石黒 鮎美

上海の青幫について

香田 梨沙

唐代の祭服の変化

幸谷 真孝

甲骨文の分期に関わる落合説の再検討

編纂史料からみた唐初の門閥貴族の婚姻

木平 尚吾

東洋料理研究史

―四大料理の成立、変遷とこれからの展望―

―唐令の変遷に関連して―

田中 那奈

西晋の九品中正と門地二品における貴族層の形成

漢代文書伝達における尚書台の立場と権力闘争に

林 晃輔

清朝末期の教育改革

―中国人日本留学を中心に―

毛沢東の青少年時代から中国共産党員までの人生

と思想について

平岡 蒼士

西洋史学専攻

西アフリカ地域におけるイスラームの浸透とその
意義

備兵隊長ヴァレンシユタインとドイツ三十年戦争
内田 一樹

ステイリコに関する言説にみる「ローマ人」意識
と「蛮族」意識

―マンデ系商業民と牧畜民フルベ族の活動―
組合などの団体に見る帝政期都市ローマの社会的
変容

オスマン帝国における多様性の共存
政治劇としてのカノッサの屈辱
ブリティッシュ・ウオッチ
―イギリス時計産業の凋落に見る職人芸の価値―
富平 一博

十字軍遠征と十字軍家系

小林 啓

ローマ帝政後期における都市参事会の変容

友景 万生

―4世紀から5世紀を中心として―

露木 宏樹

古代ギリシアにおける女性の様々な権利の制限や
その生き方

中世後期フランスにおける十字軍の影響
中世後期フランスにおける王権の拡大と限界
シヤルル7世期の軍制改革を中心として

中世末期におけるキリスト教の死生観の発展
近世イギリスにおける貧民問題と貧民の認識につ
いて

近世シチリア島におけるパレルモと貴族

近世フランスにおける国家と都市
―入市式からみる国家行政の拡大―

魔女狩りとエリート
―16・17世紀のドイツを中心にして―

―ナポリとの比較から―

赤坂 公恵

長距離交通網の歴史的意義の転換
―シベリア鉄道を中心に―

現代オランダ社会におけるムスリム移民のアイデ
ンティティに関する考察

岩尾健太郎

ドイツにおける近代化と環境意識
近現代フランス演劇は現代日本の商業演劇にどの
ような影響を与えたのか

4、5世紀におけるガリア、ヒスパニアでの非ロー
マ化についての考察

大賤 郡

ナチス・ドイツにおける青年期の少年
戦没者祭祀から見る国民統合

ヴェネツィアの「ギリシア人」

川村 桃子

ドイツにおける労働のフレキシブル化から考える
女性労働

―近世地中海の商人たち―

加藤 賢

老いる楽しみ、老いの可能性
近代人が心に描く風景

能楽における直面演出の減少

―室町期を中心とした考察―

―風景画の過去と未来―

ナチ政権下の民衆

坂井 順亮

サッカ―
―差別化の対象としてのスポーツ―

イスタンブルの都市構造からみる前近代オスマン
権力と都市への影響

関本 翔平

軍国主義国家とは
―統一から第一次大戦に至るまでのドイツに見る―

―サファヴィー朝下イスファハーンとの比較から―

寺内 仁美

堀 美鶴

近世フランスの饗宴を通して見る王の権威の表象

水野 舞

なぜ大貴族は16世紀に文化活動を求めるように
なったのか―

足立 朋美

松本 忠晃

足立 朋美

松本 忠晃

足立 朋美

松本 忠晃

足立 朋美

松本 忠晃

足立 朋美

松本 忠晃

足立 朋美

松本 忠晃

足立 朋美

松本 忠晃

足立 朋美

松本 忠晃

足立 朋美

松本 忠晃

足立 朋美

松本 忠晃

足立 朋美

松本 忠晃

足立 朋美

松本 忠晃

足立 朋美

松本 忠晃

足立 朋美

松本 忠晃

- オーストリア国民意識の形成とハプスブルク帝国の可能性 山下 眞子
- 二つの権力から見る「美しい国」 山成 颯子
- ホロコーストを見つめる国の反原発運動 吉田菜穂子
- ホロコーストの記憶と役割
- 過去の克服にみるドイツのアイデンティティー— 中山 泉美
- 近代欧米諸国における海軍と社会・技術進歩が与えた影響とは 大浦 純
- 贈答の文化…人々を繋ぐ贈答の持つ意味とは 岡崎 美保
- 無くならないアメリカの食品安全問題…消費者は今何をすべきか 小林 賢門
- 薄れゆくカントリー・ミュージックの精神…ジャンルのメジャー化の功罪を考える 相良 公子
- 20—21世紀カタルーニャとバスカにおけるサッカーと独立運動…独立運動においてサッカークラブがどのような役割を担っているのか 鈴木 拓馬
- インペリアル・ゴシック…『闇の奥』の分析 須田 裕
- 現代アメリカにおける民族的「他者」の中間性… アメリカ社会を形作るもの 田中万祐子
- アメリカ公民権運動期における組織と個人の役割 —公民権運動の再評価— 西村 崇史
- 自分好みの住空間の形成…イギリスヴィクトリア時代の都市中流家庭 中村眞理子
- 日本のマンガ・アニメのなかの女性像…「少女」はいかに表されてきたか 西山 拓海
- 近現代のアメリカが各地で行った占領政策に差別が与えた影響 平野 俊祐
- 明治維新から戦後国語改革期の日本における「国語」の変遷…「国語」の目的と必要性 藤本 淳平
- 近現代における競馬の社会的意義とは…競馬「施行」目的の変遷を手がかりとして 湯澤 悟志
- アステカ帝国の繁栄 —その背景にあったものそして滅亡へ— 渡邊 優気
- 地理学専攻
- 京都市におけるユニバーサル観光についての考察 —車いすを利用する障害者への支援と環境整備に着目して— 井堀 治美
- 江戸期人工地形改変以前における河川流路の復原 酒井 健志
- 一九四八年福井地震による液化化地点の分布と地 理的特性 真田 遥平
- 一九五三年南山城水害における被害分布とその後 の土地利用変化 井手町を中心に— 篠崎 葉月
- 静岡県岳南地域の場合— 杉山 茉優
- 兵庫県神戸市におけるヒートアイランド現象の特徴と形成要因 竹谷 駿輝
- 災害に対する意識と行動の地域的差異 —二〇一三年四月の淡路島地震を事例に— 徳野 翔
- 滋賀県高島市における水路の様相と用途の変遷 濱田 紳吾
- 熱中症発症の地域性に関する考察 —京都市を事例に— 藤居 仁
- 住宅密集地における中小河川による洪水災害の危険性 —二〇一二年京都府南部豪雨災害を事例に— 藪 寛太郎
- 明石市における乗合バス事業の変遷と需要構造 戀野 敦嗣
- 地方都市における公共交通機関の現状 —岡山市を研究対象に— 浮森 直紀
- 新潟市上古町商店街における商業振興について 大倉 佑也
- 自治体が供給するバス交通サービスの動向と課題 —亀岡市を事例として— 織田みゆき
- ニュータウンに住む高齢者の買い物問題 佐藤 薫
- 京都における清酒消費量促進の取り組みの現状について 谷川 優
- 大都市近郊地域における平成の大合併の選択 —京都府木津川市・京都府精華町を対象として— 照屋 俊樹
- 宇治市における老人福祉サービスの提供 中大路 遥
- 商店街の再活性化に向けた取り組み —千林商店街を事例として— 中谷 修平

幹線道路の建設が郊外都市に与える影響

— 亀岡市を事例として — 長谷川湧哉

中山間地域における観光振興政策とその内発性の

検討

— 奈良県宇陀郡曾爾村を事例として — 坂野 慶太

軽犯罪の地理的見解、そこから考察する防止策

平賀 充隆

森見登美彦の小説の舞台としての京都 石田 詩織

大型スタジアムの立地と周辺地域の変化

— 味の素スタジアムを事例として — 三重野 諒

「水郷めぐり」の観光化に伴う船頭に関する生業

の変化

— 近江八幡を事例として — 池田みぎわ

温泉地の地域振興における地域内部・外部からの

人的要因について

— 兵庫県豊岡市城崎温泉を事例として — 江川 正義

民宿地域の変化 賀門 真海

中心商店街の衰退における地域変容と活性化に関

する考察

— 近鉄寺田駅前商店街とJR城陽駅前商店街を事例として — 京藤 寛明

過疎地域におけるサイクルツーリズム振興に関

する考察

— 京都府南丹市美山町の地域経営型ツーリズムを事

例として — 堺 潤平

過疎地域における進学行動の変化と交通機関との

関係性

— 石川県能登町鶴川地区を事例として — 酒師 寛幸

都市近郊における観光農園の現状 西 勇人

岐阜県郡上市高鷲町西洞地区におけるスキー観光

集落の形成

— 高鷲スノーパーク、ダイナランドを事例として — 原 悠介

重要伝統的建造物群保存地区周辺地域と伝統的建

造物の利用形態の変化

— 神戸市中央区北野町山本通地区を事例として —

— 瀬戸産地を事例として — プリンティスジェニファー恵

地場産業の変容にともなう地域構成の変化

— 瀬戸産地を事例として — 峯藤 駿佑

棚田オーナー制度による地域活性化

— 奈良県高市郡明日香村を事例として — 宮内 亮多

東京都練馬区における農業体験農園の立地と利用

者意識 畝本 拓人

第44回〜第46回衆議院議員総選挙における投票行

動とその地理的傾向

海野 智裕

石川県中心部における窃盗犯罪の地理的分布と環

境要因 加藤 大貴

ハザードマップに基づく住民の災害回避行動に関

する研究 塩見 裕亮

— 京丹後市久美浜町を対象として —

和歌山県東牟婁郡串本町におけるブルー・ツーリ

ズムの取り組み

— 修学旅行を利用した地域活性化施策 — 松下 英寛

マンガ家の場所の経験と描写について

— 北条司を事例として — 松山 周一

ニュータウン住宅地におけるフードデザート問題

の発生と生活環境への影響

— 広島市安佐北区高陽ニュータウンを対象として — 村上 晃基

アニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない」に見られるコンテンツツーリズムと地域振

興に関して

— 埼玉県秩父市を事例として — 田畑 伸樹

「姫路城」を核とした新たな観光ルートの形成と

滞在型観光地への課題と展望 清水佳奈子

— 大阪市生野区におけるコアタウンの形成と変容

入江 桃子

農村地帯の日帰り型観光地的発達とグリーンツー

リズム事業への展開について

— 広島県世羅町を事例として — 榎木友香莉

『らき☆すた』聖地鷲宮から探る聖地巡礼「成功」

の鍵とその考察 大脇 雄太

寄せ場における観光拠点としての地域変容

— 大阪市西成区・釜ヶ崎地区を事例として — 佐藤 直哉

兵庫県神戸市河川における地域活性化の取組み

— 「外向きの地域活性化」と「内向きの地域活性化」 —

日本における外国人観光客受け入れ態勢の現状と

課題 篠原 晴香

— 京都市を中心として — 住田 実咲

ロードツーリストにとつての「道の駅」

— 車中泊公認施設「RVパーク」の登場 — 西尾 善太

— 京都市を中心として —

— 車中泊公認施設「RVパーク」の登場 — 西尾 善太

— 京都市を中心として —

近江八幡市における観光の現状と課題

―八幡堀を中心にみて― 仁志出葉月

タイ北部における少数民族観光

―チェンマイ県トン・ルアン村を事例として―

額谷 侃

奈良県橿原市における観光の必要性に関する一考察

―重要伝統的建造物群保存地区・今井町を中心に―

福西 健一

訪日中国人観光団の観光行為からみる中国人訪日

観光の特徴 唐 靱

文化観光における地域観光政策の現状と課題

―忠清南道天安市を事例として― 洪 錫仁

高知県四万十町における道の駅を通じた地域振興

の実態と課題

―内発的発展は地域振興の成否に関連するか―

西村 生馬

祭と住民の関係性

―愛知県豊橋市鬼祭りを事例として― 伊藤 直靖

愛知県豊田市におけるブラジル人居住者の文化形態

森 啓介

鉄道高架化による駅前の変容

―JR東岸和田駅を事例として― 森 匡由

大阪日本橋における専門店街の歴史的発達過程

岡澤奈都紀

地方都市における商業機能の変化とその対応

―福岡県久留米市を事例として― 岡村 尚弥

千葉県船橋市の都市形成から見た潟湖とその湊の

存在の可能性 川名 貴樹

農業の衰退による竹林分布の変化

―京都府乙訓地方を事例として― 栗木 貴宏

大都市圏外における交通機能と都市発展の関連性

について

―滋賀県米原市旧米原町地域を例として― 黒須 執作

京都盆地における日本庭園の構造と立地に関する

研究 仲 雅光

京都市中心市街地における田の字地区の地域特性

と京町家の活用について 長谷川耀香

阪神淡路大震災後における商業地域の変容

―神戸市須磨区板宿商業地域を事例として― 樋口 清楓

全国のプロ野球選手の出身地の特徴

地方商店街の実状と改善すべき問題点 増田 大樹

―静岡県富士宮市を事例として― 小川 寛人

人文主義地理学の射程

病院立地における地域性について 岩井 俊幸

―四国を事例として― 有馬 大貴

彦根市の商店街の土地利用、建物利用の変遷に関する考察

―夢京橋キャッスルロード、四番町スクエアを事例として―

伊吹 昂

都心部におけるコインパーキングの立地展開

―京都市を事例として― 上野 優希

公衆浴場の立地変遷

―京都市を事例として― 小椋 良則

コミュニティバス及びデマンド型交通運行に関する考察

―千葉県成田市を事例として― 幸野 錦

LRT導入に伴う沿線住民の外出行動の変化と課題

―富山市「富山ライトレール」を事例として―

題点

ニュータウンにおける集合住宅建て替えに伴う新規入居者の流動と意識 佐々木隆太

―千里ニュータウン佐竹台を事例として― 笹渕 航一

近隣センターの機能見直しによる高齢者の行動変化について

―泉北ニュータウン榎塚台レストランを事例として― 長岡 謙介

小規模公園のはたす震災時の防災機能に関する考察

―京都市を事例として― 速水俊太郎

明治期以降の大阪市における火葬場の立地の変遷

―整理事業の背景にある「公」の言説に着目して― 松尾 卓磨

兵庫県における大型小売店の立地パターン

ドイツにおける日本人旅行者行動の空間的特徴

神戸市東灘区における通勤流動の変化

枚方宿地区における町並み保全とまちづくり

奈良市における観光行動の空間的特性

東京デイズニールランドとユニバーサルスタジオ

ジャパンのイメージ構成要素とその形成要因

森田 翔子

青山 果歩

伊藤 嘉基

伊藤 嘉基

浦野 寛大

笠原万里子

菅原万里子

桑原 由衣

京都市役所周辺におけるコインパーキングの立地

展開

―IT社を事例として―

香西 勇希

三条小橋商店街と三条名店街商店街の空間変容に

ついて

斉藤 真央

京都市における銭湯の立地と現状

中村 啓吾

大学移転に伴う学生の居住地選択に関する研究

―大阪いばらきキャンパス新設を事例として―

西田 佑季

京都市オフィス街の立体化の特色

大島 草

学際プログラム

言語から見るキャラクターについて

勝尾悠一朗

日本における韓国大衆文化の受容

井野部葉月

北京語と上海語の比較

大山 恭央

コミュニケーションにおける言語と非言語の存在

奥川紗和子

商品ネーミングにおける音相と年齢の関係性

春日 祐香

造語法からみる若者ことば

佐藤 美紀

方言の変遷

澤田 迪亮

自然言語処理と感情移入能力

多々納飛鳥

手話から学ぶ現代の日本

辻本 芽生

若者言葉と死語からみる日本語の移り変わり

松崎 準

SNS、2ちゃんねる系から読み取るネットスラ

ング

松田 崇史

言語の起源と変化

三重野祐太

言語政策の意義

山内 茜

感覚と言語

山下 瑞紀

水の私有化問題

―水をめぐる現状と水ビジネスを考える― 松本 真純

Bob Marley の One Love Peace Concert から分

析する、ソフトパワーが現代の第三世界にもた

らす影響と、その可能性について 風間 深志

CMのコトバの力―ホンダのコピーから

片瀬 志保

ロシアの歴史と文化に関する考察

佐々木 瞳

医療と市場原理について

琴名賀浩介

『美少女戦士セーラームーン』を背景から探る

馬庭友里恵

『世界終末型』ゾンビ作品が流行る理由 馬淵 モモ

士郎正宗「攻殻機動隊」におけるマンハッタニズ

ムと「知性体」についての考察

菊谷 倫子

―触れえぬ非科学的な「心」とは― 菊谷 倫子

グリーン&レッド日本の茶道と英国のティータイ

ムを比較して 林 紫

Qというメッセージ 村上春樹は『1Q84』で

何を描いたのか 井上 佳美

日本文化の彩 歴史的および比較文化的視点から

ロココをめぐる女性表象 浦野 莉恵

都市における自然と人工 ドイツの景観保護から

大石 望美

菅 夏海

三二

ヨーロッパにおける美術館の成立と展開 私的コ

レクションから公共空間へ 小池 陽香

生産主義芸術はなぜ批判されたのか アレクサン

ドル・ロトチェンコの作品を通じて 佐原 葉

岸田劉生と日本美 三瀬有寿紗

狩野山雪の作品分析から考える絵画の形成と継承

稲増衣里也

神のイメージ 猿田 美貴

―インドの神々を中心に―

我々が求めるヒーロー像とは? 野金 勇亮

―漫画、アニメ、実写映像からの考察― 林 美沙

牛頭天王の像容について 原田 晃行

迦楼羅像の変遷と源流

明治維新以降の邦楽について 牧野友香子

―箏・三弦・尺八の変遷と変化― 吉川百合子

障壁画における再現の文化と可能性 甲斐あさひ

人とキャラクターの可能性 田和 宏規

民間軍事会社 加藤 志帆

児童文学における「戦争」 齋藤明日香

―日本作品と英語圏作品の比較を通して―

なぜ絵本は必要か 中島 将志

大阪方言の変遷 畑中 樹奈

―新方言と標準語による影響― 松崎 朝陽

母性の作家に学ぶ教師と人間性 山口 太成

ゲイにまわり付き女性たち

動物と人間の関係性

在日朝鮮人社会の形成過程

―20世紀の大阪市旧猪飼野地区― 山下 瑛未

- 鋼の錬金術師の一考察 井川亜里紗
『魔法使いハウルと火の悪魔』論 井口 美穂
オートバイの衰退 二平 直樹
人はどのように芸能を学習するのか。 上坂 朋也
民族文化観光とアイデンティティ形成 北浦 美桜
（アイヌ民族を中心に）
ファッションから考える 女が装う「女性」「男性」 西丸 光
台湾における植民地建築の保存と活用 田中 野枝
インターネットにおけるスラングを用いた言語交 物語論から探る宮崎アニメ
流と集団形成について 寺川 喜洋
なぜ琵琶湖は観光地としてのイメージがないのか 映画を彩る音楽
宮脇 貴乃
―ディズニーマニメーションを対象として―
山田 悠加
ネパールにおける山岳信仰と登山道の変化に関する グリム童話におけるジェンダー
る研究 室田 大介
―魔法の表象と歴史―
空久保絵美
ライダーハウスの現状と課題 京都府京都市のラ サンティアゴ巡礼のツーリズム化
イダーハウスを事例に 山下 佳輝
―四国遍路との比較を通して―
岡部 茜
アメリカ音楽文化からみる日本人の本場本物志向 キリスト教の埋葬と葬儀
小川 哲平
（伝統の形成と現代における問題）
南條 博紀
「私写真」という写真表現 市道 野愛
国際プログラム 近藤美菜子
日本におけるバレエの現状 岡本 玲奈
スペインの家族 遅れる若者の自立をめぐって
近藤美菜子
舞台演劇におけるリアリズムと観客との関係性 越智 浩太
フランス人女性の恋愛と家族 母か、女か
松政 彩乃
現代日本の「涙が出る物語」の受容 恩田 賢
J・POPの誕生と普及 田口 史織
アメリカ先住民の抵抗とアイデンティティ ドー
ロックにおける「反抗の精神」の変遷 田中 正俊
ズ法制定から現在まで 森本 耕平
演技論における虚偽とリアリティ 中野まどか
- 現代アメリカ人の食生活 その肥満問題と健康志
向の二極化をめぐって 坂東 明恵
大学と教養 戦後日本における高等教育政策の歩み 天野 伽映
資本主義と冷戦 技術革新に焦点を合わせて 今川 絃希
理想と現実の世界 ドナルド・ダックからみる 小泉 信乃
韓国人はなぜ英語が上手いのか 第二言語習得研 立道めぐみ
究の視点から
戦争と芸術
―絵画とアニメーションにおけるプロパガンダ
田邊 恵
ことばの共存 台湾の言語政策を通じて 田村 莉子
観光と文化の共存 バリの事例を中心に 友納 一瑛
魔女狩り その共同幻想としての変遷 永田 成美
アニメツーリズムと地域振興 持続性をキーワード
に
橋井 里実
「もてなし」としての茶の湯 二木 彩帆
画面の中の同性愛 メディアは偏見を失くせるか 古谷 都和
自己と他者 コミュニケーションにおける心の壁
をめぐって 宮野 華奈
人間と不平等 そのはじめりをめぐって 八幡侑希子
変容するインターネット 著作権強化とコモンズ 田中 啓喜
食育の現状と展望 学校が育むちから 田中めぐみ

多文化主義と「独特な社会」 ケベック・ナショ

ナリズムの変遷を通じて 美村 侑花

日本における多文化社会のゆくえ 先進的な地方

自治体を事例に 岡本 彩季

日本のうつ病マーケット 変容する「うつ」を

追って 高橋 侑希

多民族国家と人種差別 南アフリカ共和国の植民

地支配をめぐる 樋口 千尋

いまを生きる貴族 英国ナショナル・トラストに

みる文化継承 大西 由花

高齢者の孤立と個立 コミュニティとテクノロ

ジーの共存をめぐる 角 景子

カリスマオタク、「布教」する

クール・ジャパンにおけるタニー・チューの独自性 池田あやめ

映画に見るパリへの憧れ

―『パリの恋人』『のだめカンタービレ』から― 乾 遥香

移り変わる白と黒の世界

―『招かれざる客』『セイブ・ザ・ラストダンス』比較 から見える新世代のブラック・ムービー― 奥村 滯

ヒットの条件

くアドルノから見たJポップ市場 家代岡才文

木更津キャッツアイが木更津市を救う!?―ファイル

ムツリリズムからロケーションツーリズムへの

移行と地域貢献の持続性

河合まりや

インターネットを活用する大学教育

川村 哲也

付加価値を消費する時代

―モノではなくコトを買う― 齋藤 邑

移り変わる女の幸せ

くシンデレラシリーズに見る女性の理想 佐々木 渚

地域振興におけるゆるキャラの在り方

―熊本県・くまモン、鹿児島県・ぐりぶーを比較して― 杉本 美憂

取捨選択される外国イメージ

―資生堂CMから探る日本人女性のプライド― 谷口友梨恵

アマチュアが発信する時代…ニコニコ動画、pixiv

におけるn次創作活動の事例から 中達 萌

インターネットにおけることばの性差

―匿名掲示板「2ちゃんねる」を事例として― 二段 拓海

バスケットボール中継のなかの「物語」

―アメリカ、NBAのプレイオフを事例に― 藤本 真甫

サッカー女子を追うメディア

―なでしこジャパンのW杯優勝が報道に与えた影響― 八木 彩華

日本における社会的銀行の可能性

―ソーシャル・ファイナンスの普及に向けて― 新井 友香

日本の国際理解教育政策に関する一考察

―未来の地球市民からの挑戦― 井二 裕真

ブライダル産業から見る若者の結婚観

門川めぐみ

成田空港のサービス品質向上に向けた戦略

く空港スタッフのホスピタリティに注目して 金丸 桃子

ヒジャブからみる現代インドネシアの女性観

―アンケート調査を中心に― 熊本 あい

インド文化遺産から見る持続可能な観光開発

―ヒンドゥー教聖地ヴァーラーナシーの無計画開発 を事例に― 玉置 美紗

韓国大衆文化における“個人の発見”

くソテジは韓国社会に何をもたらしたのか 岡田 佳奈

環日本海経済圏と舞鶴の国際交流

く浮島丸事件が起こった地域から北東アジアの平和 的未來を考える 川原あゆみ

北朝鮮住民の生活実態

―経済格差が及ぼす影響を中心に― 島田 碧

韓国と日本における少子化問題

く教育競争と保育問題の解決に向けて 樋口 芳乃

変化する日中関係の中での尖閣諸島問題

―領土ナショナルリズムの観点から― 三矢 楓

韓国における外見重視の風潮

―なぜ美容整形が盛んなのか― 堀田 美緒

スタン・ユア・グラウンド法の真実

くアメリカ南部に残る暴力 表 魁人

コミュニティから生まれる公教育改革運動―ニュー

オーリンズ市の事例からみるチャーター・スクー

ルの取り組みと課題

赤石 涼帆

- グローバルライゼーションの光と影
—ウォルマートがアメリカとメキシコ社会に及ぼす影響— 市岡 菜摘
- 社会構造が引き起こす沖縄アメリカン問題
—米軍事基地が生んだマイノリティ— 伊波真理子
- 19世紀アメリカ西部と銃利用
—ゴールドラッシュと西部開拓を通じて— 岡田 裕貴
- ユダヤ人によるファッション産業の形成
—19世紀から20世紀におけるニューヨークでの事例を中心に— 古賀 友望
- ディーン・G・アチソンと赤狩りの関係性 太古 集
- 中央アジア・カスピ海地域の石油資源を巡るアメリカとロシアの攻防 田渕 敦
- アメリカ女性の結婚形態 田村 華織
- アリゾナ州ツーソン統一学区メキシカン・アメリカンスタディーズ問題から考えるアイデンティティ教育の重要性 富田すみれ子
- 世紀転換期のアメリカ文学と社会
—大衆小説から見る国民の理想像— 宮崎 温子
- アメリカ建国期における黒人
—トマス・ジェファソンからみる人種差別— 山崎真里菜
- Bilingual's Code-switching and Language Combinations 金 雯
- Differences in Effects Between Short-term and Long-term Study Abroad Experiences 芋谷 真衣
- ESL Learners' Anxiety of Speaking English and Its Relation to Study Abroad Experiences 岡田英里子
- English Education Through Movies Demotivating Factors in Japanese Students' English Learning 中川 美穂
- 上田 麻未
- 宇多田ヒカルという表現 大北 瑞生
- 静かな空間 フェルメールが描く一瞬 岩崎 寛子
- カタルーニャの9・11 なぜ独立にこだわるのか 駒田 真衣
- 木村 伊織
- カミュと震災 木村 伊織
- キリスト教世界における動物観の変遷 奴隷反対 齊藤こころ
- から動物愛護へ アニメ聖地を巡るひと 地域活性化とコンテンツ ツ・ツーリズム 島田 悠希
- SNSは何を変えたのか 近代文学とコミュニケーションの変容 関 浩未
- ポピュラー音楽と人 スローシテイ 地方イタリアの個性が活きる発展 スローシテイ 中村 聡
- ドラマからみる現代アメリカの家族「デスパレー」 田中真穂理
- 「トナ妻たち」の観点から
- LINEスタンプにおける感情伝達の機能と解釈 木村 優希
- 青年期における痩せ願望とボディイメージの関連 富村実可子
- 大学生にとっての「居場所」
—レジリエンスとの関連において— 藤村あきは
- SNSにおける自己呈示と賞賛獲得欲求
—拒否回避欲求との関連— 正木さやか
- レジリエンスおよびハーディネスの心理的ストレ ス反応低減効果の検討 山口 直剛
- 説明文産出における相互作用の質が文章のわかりやすさに及ぼす影響 老松 志郎
- 自閉症児における日常場面での会話と表情理解
—簡単な計算・音読課題の介入の効果— 楊井 孝
- 自閉症児(者)の母親の心理的変容過程と余暇支援サークル参加との関連 天池 輝
- 分数における概念理解の検討
—等全体・等分割に着目して— 佐々木千智
- ジグソー学習が中学生の学習意欲に及ぼす効果の検証
—生徒全員が役割がある授業を目指して— 澤田 清吾
- 自閉症児の模倣行動の強化
—簡単な計算・音読課題への取り組みを通して— 田中 雄介
- インフォーマルな知識の抑制と割合概念の関係 畑 康希
- 説明文理解を促す方略の検討 渡辺 聖良

健康高齢者の学習活動終了後における認知機能活

性化の効果の変化

今村 和子

幼児の好奇心に関する実験観察

〈新奇性・探索・問題解決の三側面から〉 妹尾 隼人

児童の社会的表示規則の判断について

山口 望実

「魔の二歳児」の言動に対するアプローチ方法の

検討

〈保育場面における実践的研究〉 青木 美穂

幼児の人物画における色彩表現の描画対象による

差異および発達の変化の検討 伊藤 まり

知識状態の理解が幼児の道徳判断に及ぼす影響に

関する実験的研究 大杖 鮎果

幼児の色に対する味覚イメージの発達の検討

北山佳奈枝

変化する

小山菜摘美

幼児の親密性が遊びの進行に与える影響に関する

実験的研究 下崎優莉華

〈カラー・ピラミッド・テストを用いた検討〉

鈴木友貴奈

大学生の時間的展望が親準備性に与える影響

広地 慶竜

保育士による乳幼児の寝かしつけ場面の行動観察

研究 山田 華恵

音高と言葉による概念化に関する研究

木下 貴裕

思い込みと批判的思考態度との関連性について

杉浦 明子

サークルテスト及び時間的展望文章完成法を用い

た高齢者の時間的展望

―大学生と比較して― 井上 舞

移行対象と青年期後期の慰める存在

女子大学生における理想の生き方と子を産む理由

の関連 高橋 茉衣

育児期における女性のアイデンティティと夫婦関

係の関連

―夫からの育児サポートに着目して― 谷口 万帆

青年期における居場所感の比較

〈SNSの分析を通して〉 中野 菜奈

女子青年の結婚観形成

―両親の夫婦関係と父親との関係に着目して― 中道 彩乃

大学生の親イメージが自己愛的甘えに与える影響

―家族イメージ法を用いた検討― 而保 葉月

青年期の独立意識と親子間の親密さの関連性

大学生における仮想的有能感と協同作業認識の関連

離婚に対する否定的意識の形成過程

―離婚家庭の子どものイメージに着目して― 村上 達紀

親子共同住居の女子大学生の母親からの心理的離

乳過程の語り 荒木沙理奈

情動的共感性が報道による犯罪者イメージの形成

に及ぼす影響 岩城穂乃花

少年非行の原因に関する高校生と保護観察官の認

識の違い

―内閣府の世論調査票を参考にした比較から― 上田 眞之

立ち直り支援ボランティアのエスノグラフィ―

―支援する学生の場の意味に着目して― 菊地 優奈

協力雇用主による刑務所出所者等の雇用にかかわ

る意思決定プロセスの研究 齋藤 絢子

いじめ体験者による大学での友人関係構築につい

ての語り 長尾 知美

大学生のアレキシサイミア傾向と友人関係の関連

―親への愛着歴及び友人への愛着による影響― 樋口 希瑛

ライフストーリーからみる環境とパーソナリティ

の関連 水戸 智舟

現代青年の理想とする親子関係について

―大学生の自由記述内容の分析から― 宮本真由美

一人っ子の男子大学生の養護性の形成過程につい

ての質的検討 岸田 悠佑

〈養護・被養護体験に着目して〉

就労・育児と女性のライフコース選択との関連

―理想と現実との差異に着目して― 木村茉那美

高齢者介護施設職員の職場ストレスと精神的健康

―職場内人間関係に着目して― 木本 麻由

思春期から青年期の子育てを通じた母親の心理的

変化とその関連要因

―娘との親子間葛藤の経験に着目して― 地下 昌里

大学生の友人関係における役割行動期待度のズレと対人ストレスの関連

—親密度の段階に着目して— 田中 郁美

青年期における親の期待の捉え方とその関連要因

—青年の進路決定に着目して— 二瓶 祥吾

夫婦間葛藤の認知と友人関係が精神的健康に及ぼす影響

—青年期の子どもを対象に— 藤田 瑞紀

友人関係における対人葛藤がもたらす心理的変化

—青年期女子の語りから— 村上 千春

恋人との交際から得られる成長過程の検討

—恋人とのソーシャル・サポートに着目して— 森下 千尋

幼児をもつ母親の育児に対する心理的変化

—育児不安、育児幸福感、パーソナル・ネットワークに着目して— 山西 希美

大学生におけるポピュラー音楽と攻撃性の関連

仮設住宅における高齢者コミュニティのエスノグラフィ

—福島県笹谷東部仮設住宅の集会所の事例から— 天野 丞可

引きこもり・不登校経験者を対象としたセルフヘルプグループの在り方と参加者の心の変化

加藤 りさ

関西から捉えた東日本大震災三年後の福島

—食と安全性の意識調査から— 河野 賢

質的分析法を用いた裁判員裁判型評議過程のモデル化

大学生生活における授業の布置とその変容

—4回生へのインタビューから— 清水 大地

カネミ油症被害者の病気の受容と開示のプロセス

—個人調査(裁判準備書面)とインタビューから— 中村 仁美

健康観と地域・社会特性

—日本に住む大学生を対象とした調査より— 野津伽耶子

大学生が力を発揮したい場面の前に準備すること

—試合・試験・発表を中心に— 平井 美帆

計算課題の挿入による文脈効果への影響

論理的警告及び感情的警告が歪曲された歴史に対する認識変化に及ぼす効果

大学生における色彩嗜好性とユニークネス欲求との関連

女子大生における装いの目的

—自尊心と賞賛獲得欲求・拒否回避欲求に着目して— 五十棲早希

大学生の自尊心の高低と友人関係

購買志向と日常生活における選択の関連性

プロパガンダに伴う情報操作の影響とその影響を打ち消す条件についての検討

子の結婚観形成に及ぼす影響

—両親の夫婦関係と異性の親との関係認知に着目して— 亀井 千穂

大学生の自尊心の高低と友人関係

購買志向と日常生活における選択の関連性

プロパガンダに伴う情報操作の影響とその影響を打ち消す条件についての検討

子の結婚観形成に及ぼす影響

—両親の夫婦関係と異性の親との関係認知に着目して— 竹本 舞

大学生の自尊心の高低と友人関係

購買志向と日常生活における選択の関連性

プロパガンダに伴う情報操作の影響とその影響を打ち消す条件についての検討

子の結婚観形成に及ぼす影響

—両親の夫婦関係と異性の親との関係認知に着目して— 戸田 悦子

停止エスカレーターにおける視覚的影響

弁証法的自己観が消費行動に与える影響

弱小企業における比較広告の効果の検討

観光目的地に対する動機と属性

電車における駆け込み乗車に影響を及ぼす要因と決定するタイミング

着色及び着色の濃淡が味の知覚に及ぼす影響

—飲料における赤色の検証— 岩崎 大樹

野球におけるピンチの度合いと対応策

ボールと背景とのコントラストが及ぼす打撃成績への影響

バドミントンのダブルスにおけるロングサーブスの予測精度に影響を与える要因

課題遂行時におけるさまざまな生活音の妨害効果について

運動部活動への参加による大学生と先延ばしの関係の変化

大学生の就職不安における精神的健康及び親との依存—独立の葛藤

成人における独り言の発生と発話傾向・認知欲求の関連

認知的フュージョンと非構造的ダイエットの関係

利他的行動に関する実験的研究

—利他的行動のビデオ視聴が及ぼす影響— 石井 聖子

糖尿病患者に対するセルフモニタリングによる食事環境の改善支援—家族としての視点から見た

支援

坂本 真也

富田 夏生

浅岡詩央里

池田 菜美

岩崎 大樹

奥村 未希

金城 岳野

柴田 篤人

下村 瑞樹

石谷 紬

赤木 優花

玉城 南

梅澤 康平

足立 望実

石井 聖子

井西 祥元

ACTを用いた自主学習による先延ばし行動の事例研究

桐田 彰人

PMS・PMDDの女子大学生とソーシャルサポートの関連

中澤 礼子

ソーシャルストーリーを扱った研究の文献調査

永井 千晴

発達障害児における条件性弁別を用いた他者視点の形成

沼田 直己

行動分析学に関するワークシヨップが問題解決能力に及ぼす影響について

山本 久斗

対人恐怖を持つ学生に対するマインドフルネス・トレーニングの効果

励 依夫

データ付きポスターによる不法駐輪軽減の効果について

今泉 智子

補助具を使用したインステップキックの改善

大森 徹

硬式テニス経験者のファーストサービス技術向上に及ぼすホース練習の効果

大屋美沙希

大学生の音読における「あがり」喚起状況による失敗数の変移

岡田 創吉

インタビュウのコーチングは可能か

中谷 勇斗

学生ジョブコーチによる車椅子を使用している特別支援学校の生徒に対する模擬喫茶店舗における就労支援

水野しおり

特別支援学校の生徒のスケジュール管理行動の獲得

吉尾 玲美

言語情報が信頼性判断に及ぼす影響…真顔と笑顔の比較

伊藤早弥香

犯罪場面における声の発言速度が犯罪者の年齢認知に及ぼす影響について

大北 晃平

一口語体と文語体の違いに注目して

友松 亮介

言語的符号化の違いが視覚シンボルの記憶に及ぼす影響

福井 和也

製品の入手可能性と重要度が購買意図に及ぼす効果

松井 千裕

想起の難しさが気分不一致効果に与える影響

渡辺 有紀

色嗜好の認知と居住空間の印象評価の関連性

神先 里沙

個人の色彩の嗜好が住空間への安心感に及ぼす影響

島山 雄光

刺激色の変化が運動時の視覚や動作に与える影響

高宮 大輝

語尾の違いによって受ける印象の変化

田村 明莉

パッケージの配色と味の組み合わせによる印象比較

中藤 康太

単純作業時におけるBGMが作業効率及び、作業時ストレスに及ぼす影響

山口 菜美

色と形の調和を規定する要因の研究

松尾 洋介

「蛇の回転」図形を見ることが集中力に及ぼす効果

岩元 愛

物語によって誘導された感情が色彩選択に及ぼす効果

田中みのり

—主人公の服の色の着色課題を用いて—

講義室内の物理的環境が大学生の居眠り行動に及ぼす影響

道勇 公美

明晰夢を見る人のパーソナリティ特性、夢の内容、夢で感じる感情および夢への態度

保出志緒美

日常の音楽聴取において好まれる歌詞とパーソナリティとの関連

丸野 夏実

同一色相の二色配色刺激における面積比が調和性に及ぼす効果

吉田 靖志

単語認知における表記頻度の影響

上辰 耕平

避難指示文が緊急時の判断・行動に与える影響

安達奈緒子

異性関係の発展・維持・崩壊と社会的サブスキル

大西 啓友

広告の潜在認知とその促進・抑制効果の検討

阪口 祐太

空間移動における空間イメージマップの特性

高橋まりあ

予期される後悔の過大評価と過小評価

中島 詩乃

ステレオタイプは抑制できるか…オーバーヘッド・コミュニケーションを用いた検討

原口 拓磨

地域限定ラベルが引き起こす商品の購買意欲

坂東 大輔

- 環境配慮行動の規定因について
 —個人特性と状況認知の観点から— 松浦 愛
- 協同問題解決における個人意見の外化の効果
 山本 雄大
- 算数の文章題における内容理解に及ぼすつぶやき
 読みの効果 杉山 寛明
- 他者説明による自己理解促進
 ～学習における他者説明効果の影響・相手の反応に
 対する変化～ 永井 舞夏
- 他者の視点が女子大学生の自己理解の促進に与え
 る効果 浅井マナト
- 男子大学生の恋愛タイプと結婚観の関連性について
 伊勢谷璃帆
- 居住形態別大学生における対人ストレスコーピン
 グと抑うつとの関連性 井上 尚子
- 大学生の対人ストレスイベントの傾向と精神的健
 康度との関連について 植田 雅貴
- 課外活動集団内に注目して—
 いじめに対処をした小学校教師の心的プロセス
 大平 梨絵
- 離婚を経験したひとり親の心理的過程
 —子育てを一通り経験した母親の語りから—
 立花 咲葵
- 課題箱庭制作における自己理解
 —「過去の自分」「現在の自分」「未来の自分」をテ
 マとして— 永田 麻友
- 大学生における過去の被養育経験と現在の自立心
 との関連 古家 壮介
- 大学生における感謝と主観的幸福感及び精神的健
 康との関連性 康との関連性 虫生里沙子
- 京都学プログラム
 司馬遼太郎の「原点」
 —〈京都〉から探る— 天野 美有
- 狂言と〈京都〉 伊藤 早恵
- 〈京都〉における教育の変遷 加畑 輝樹
- 和菓子と〈京都〉 清水 葉月
- アンノン族と〈京都〉 鈴木裕加里
- 〈京都〉における遊廓・遊女 田代 莉穂
- 森見登美彦と〈京都〉 成元 美香
- 文学に於ける「嫁盗み」論 西本 佳代
- 京野菜について 福本 紫織
- 〈京都〉と桜 藤井 聡子
- 谷崎潤一郎と〈京都〉 渡邊 紗弓
- きものにおける「京都」 川口 侑利
- 平家にとつての雅楽 大杉ひかり
- 祇園祭の山鉦の由来 神谷 和実
- ～町衆はどのように選んだのか～
 明治時代の京都における女子教育その問題点と終
 着点 上甲 貴志
- 平安時代の人物譚の発生と伝播に関する一考察
 中野 茜
- 広隆寺の本尊について 永井 華子
- 幕末維新期における京都民衆の天皇観 吉田 匠
- 細川藤孝と忠興の改姓
 —「長岡」姓の意義— 米谷まどか
- 京都近代化における日本キリスト教との関係
 —日本聖公会を題材に— 尹 瑩載
- 樂焼の継承
 ～伝統を考える～ 磯見 亮輔
- 伏見人形の需要の変化について
 —信仰の対象から嗜好品を経て— 北田 万葉
- 近代着物デザインの東西比較
 —百貨店図案から— 中村 紀子
- 近世以降における京都の花木の名所の盛衰とその
 背景 辻村 友里
- 阪急西院駅周辺における路上放置自転車の実態と
 その要因 加藤 明香
- 京都における近代建築のリノベーションと観光資
 源としての活用 高鶴ありさ
- 一九六〇年代以降の商店街の変容及び持続性とそ
 の地域的特徴 小門 愛
- 京都市中京区商店街を対象に—
 阪急電鉄西山天王山駅の新設に伴う周辺地域の土
 地利用変化について 澤井 翠
- 京都市中心部における町家再生店舗のファサード
 の類型化から見る景観問題 西村 優里
- 京都市におけるコミュニティバスの導入事例と利
 用状況の地域的差異 藤井 康史

京都市における夜間街路景観形成の現状とその地域的特性

— 祇園新橋伝統的建造物群保存地区を中心として —

古田 直也

近年の京都市における大学と地域の連携と地域活性化の取り組み

古田 莉奈

京都の門前町の町づくりと地域活性化

山口 美景

京都における観光トレンドの変化とまち歩き観光

金 有旻

京都の都

木原穂奈美

— 恭仁京をめぐって —

七・七禁令が京都の産業及び市民にあたえた影響

須藤真理恵

『都名所図会』の読者がイメージした京都

清野 彩

京都の医学史

垂井 謙太

— 僧医に着目して —

江戸時代における京絵図

古川 万愛

京都における廃仏毀釈とその反抗運動

田畑 智英

京都市における景観問題の変遷とまちづくり

井岡 美優

— 明倫学区を事例に —

立命館大学衣笠キャンパス東門前における商業環境の変容

大塚 茉莉

酒造・月桂冠のテレビCMに対する大学生の見解とその考察

小田佳於里

食料品チェーンスーパーの立地特性

— 京都市のフレスコを事例に —

北井 拓郎

京都市宇多野ユースホテルにおける宿泊者・地域住民向けイベント事業とその役割

黒川 真奈

祇園花街と「ねりもの」の実施動向

三浦 実香

— 明治期以降を中心に —

地方小都市における観光政策の変遷

— 松本市における脱「小京都」化に焦点を当てて —

村山 佳織

言語コミュニケーションプログラム

流行語からみる表現構造の推移

中村 由佳

字幕・吹き替えから読み解く表現体

三浦健太郎

幼少期から始めるラジオライフ

稲葉 千秋

からだの不自由なひとのための観光雑誌

井上由加里

考察「伊坂幸太郎」の表現手法

— 『ラッシュライフ』における伏線の特徴 —

鴨井みなみ

キャッチコピーにみられる新たな季語の効果

岸上 紗英

オーディオドラマ『東京はーとれいん』三ノ丸裕貴

高校生へのファシリテーション型授業の提案

— 小中学生の「対話授業」とファシリテーション技 —

法から読み語り

読み語り

— 京の昔ばなし —

新聞にみる日本語表現の現状と課題

— オーディオドラマ『東京はーとれいん』 —

日常会話の報告場面における応答の適切性

— 子どもの性別の違いによる養育者のコミュニケーション態度の比較 —

— ション態度の比較 —

— 運動表現中における心理描写・説明文の表現理解への効果 —

— 異性間コミュニケーションにおけるすれ違いの分析 —

— 若者が使用するほかし表現と対人関係への意識 —

— 大学生の使用実態を中心に —

— 日常会話において話題の転換を促す認知的要因 —

— サッカーにおける声掛けのコミュニケーション効果 —

— 有声の「間」と無音の「間」に対する気まづさの比較 —

— ファーストフード店の接客場面における表情切り替えのタイミンング —

— “褒め”と“フィードバック”を用いた効果的なスポーツ指導について —

— 中学生選手への効果的な指導法の発掘に向けて —

— 邦楽における音と表記のズレ —

— 歌詞におけるふりがなの分析を通じて —

野里朱美礼

廣瀬 隼人

玉井 伸吾

安達瑠見子

安部 観月

生田 聡満

亀井恵美里

河地 真里

北野 藍子

谷口 智紀

- ジブリ作品の字幕翻訳に見る日米の文化差
村上 真穂
- 偏見をめぐる人間のあり方を描く。創作小説
「BLUE」
稲垣 薫
- 小説『峠の恋』
遊郭を舞台に女性の「自己」の成長を描く
荻原 里美
- 『阪急電車』における内的独白表現
―「物語の推進力」への効果を探る―
鬼塚 由梨
- 『千と千尋の神隠し』の台詞の特徴
―台本における言語表現から見る千尋の自立―
数阪 喜咲
- ファンタジー小説『雨宿り(こもり)』
―水危機と環境破壊の先の世界を描く―
木村 梓美
- 日本生まれのダブルの子供に対する「寄り添い型」
スキャフォールドイング
近藤 実穂
- ロボットだけの世界
―教科学習の理解を促すために―
坂井 孝至
- 小説『S A W A』
―現代社会の生きづらさから仮想世界にはまってい
く女性を描く―
野村 百香
- 東日本大震災の被災地東北を舞台とした旅随筆
―「旅」で捉える多文化理解が生み出す未来―
真木あすか
- 長野まゆみ『少年アリス』における世界観
―ルビ表記が作品に与える効果に注目して―
三宅 美緒
- 小説「夕方、6時半以降の情景」
―自信喪失からのリカバリ、否定的な考え方から
の脱却―
山口 晴菜
- 依存型安寧社会の行く末と「ひとつの幸福」の選
択を描く小説題名『Brionfoid.』
中西須瑞化
- 小学校におけるJSL児童に対する教育実践報告
―授業のユニバーサルデザインという観点から―
安藤 祐実
- 日本の飲食店でアルバイトをする外国人留学生の
ための教材開発
内田 百香
- 日本語学習者の作文に対する教師のフィードバック
―具体的に肯定的なコメントの考察―
太田いづみ
- 中国人日本語学習者が日本の新聞を読むためのカ
タカナ語教育
垣尾玲央菜
- 外国人が日本武道コミュニティ内で指導者になる
までのプロセス分析
小山みいむ
- ―武道の国際普及に伴う諸問題―
韓国語日本語学習者のためのカタカナ学習
高木 茉衣
- 異文化間において色彩語のイメージがもたらす文
化的相違
―日英中の三言語間の比較―
田中 宏道
- 日韓大学生のメッセンジャーアプリへの意識と実態
田中 舞
- 外国人児童散在在地域における「地域日本語教室」
で活動する指導者の経験過程
中野 陽子
- 留学生同士の会話における気遣い
―第三者言語接触場面における会話の一考察―
蜂屋 静香
- 日本の飲食店で働くことを目指す外国人留学生の
ための教材開発
馬淵 花映
- 韓国人日本語学習者を対象とした漢字学習ストラ
テジーの一考察
―漢字学習ストラテジーを日本語教育に活かすため
に―
満田 美紅
- 海外でヒットしたアーティストの戦略と歌詞の位
置づけの変化
安田 結衣
- English Learners' Vocabulary Learning
Strategies in Special Reference to Repetition
西村 蘭
- How to Make a Smooth Transition in English
Education from Elementary to Junior High
Schools
原 愛実
- Assessment of Speaking Skills in Japanese
High School English Education
山口 葉奈
- Japanese University Students' Knowledge of
and Attitudes towards World Englishes
中村 有貴
- English Abilities Needed to Become an English
Teacher at Secondary School in Japan
加畑 貴之
- 歌詞から考察するアイドルとファンの関係性
酒井香菜子

ビジネス場面における若手女性社員の効率的コミュニケーション・メタ分析的アプローチ

渡邊 文

行為要求の断り場面における「前置き表現」の効果

岩谷 直将

テーマリサーチゼミナール

心（感情）と身体との関係性

河原林理絵

— ヨーガの実践を通しての一考察 —

木村 美咲

心、特に感情と体を大切にすること

立元 祐貴

— 自分を発見する —

新 安紀

抑圧された感情の向こうへ

新田 康憲

— ヨーガ実践をおして —

私の礎

二ノ宮久美

— ヨーガによる健康回復を中心に —

射撃と心身のコントロール

大橋 恭平

— ヨーガ実践を通しての心身の変化 —

「我慢」の克服

久保 結子

— ヨーガ実践を通しての心身の変化 —

ヨガの観点からみた身体との関わり方に関する研究

野上 佑輔

— ヨーガ実践を通しての心身の変化 —

「我慢」の克服

飯田花菜子

ヨーガの心身効果に関する理論的・実践的研究

池田あかね

戦後の小学校給食—大山崎小学校を中心に

林 千菜美

一九六〇年代の京都府乙訓地域における小学校の運営と実践

— 大山崎小学校を中心として —

本庄 葵

戦後の小学校における学校保健

— 大山崎小学校を中心として —

柳原 光留

選書論からみた大山崎小学校図書館の蔵書の変化

— 大山崎小学校を中心として —

今勝 春菜

学校日誌からみる戦後の大山崎小学校

— 大山崎小学校を中心として —

岡田 美樹

小学校養護教諭と子どもの心の問題

— 大山崎小学校を中心として —

柏木 亜梨

京都府の小学校教育と地域との関わりの変化

— 乙訓地域を中心として —

佐藤 桂輔

一九三〇年代の尋常小学校における歴史教育の地域性

— 乙訓周辺地域の事例研究 —

澁谷 晃平

戦後の小学校体育科教育

戦前から戦後の教員養成制度の変遷—大山崎小学校を一例として

仲野むつき

戦後期の小学校における寄生虫病対策—大山崎小学校の事例研究

戦前期における小学校の成績評価に関する通時的分析

中村 俊輝

— 明治34年～昭和25年の大山崎小学校の学籍簿の研究 —

牧島 愛

ミシンの歴史と家庭教育との関わり

江川 健太

大山崎小学校高等科進学率の変動からみる地域的事象

道徳教育との関わりからみた戦後の小学校図書館蔵書

— 大山崎小学校を中心として —

堀田 真世

戦後の小学校における学芸関係行事—大山崎小学校を中心として

電子書籍とマルチメディアの可能性

デジタル環境下における学習塾の展開

電子出版とアクセシビリティ—読書困難者のアクセス保障の観点から

デジタル教科書の新展開—デジタルアーカイブ活用事例の考察

デジタル絵本の可能性

大学図書館における電子書籍の活用

大学生のレポート作成におけるデジタル資料の活用

デジタル化による地域資料の活性化—「東寺百合文書WEB」の事例を中心に

公共図書館へのデジタル資料導入に関する考察

大正後期から昭和初期における京都花街の内部構造

— 『技芸倶楽部』の分析から —

新京極における寄席の盛衰

市街地再開発にともなう地域の変容

— 京都駅南口周辺地域を事例として —

三宅 泰人

安江 崇人

平松 美有

井 聡子

佐藤 友加

清水 彩江

岡田 有毅

佐久間勝基

中村 佳正

山崎 礼真

岡本 尚子

杉本 真悠

東 志保

京都・崇仁地区における「まちづくり」と景観の変容	飯田ちひろ	イギリスのスポーツ放送における商業化と公共性の問題	小山 裕斗	Influence of Word-of-mouth on Chinese Travelers	松川 優花
京都市内において公設小売市場が果たした役割とその跡地利用	椀田 佳希	ヨーロッパの服飾の歴史	増川 梨那	The Potential of New Tourism in Japan: Korean Visitors to Japan	安達 梨奈
京都花街におけるお茶屋の減少と景観的特徴	齊藤 綾華	近代ヨーロッパの生活における音楽の役割とその変化	加藤 佑輝	Inbound Tourism in Japan	熊崎 伶奈
—宮川町を事例として—		戦後ドイツにおけるヒトラー・イメージについて	苦米地華衣	Asian Sea Lanes: Historically, Currently, and into the Future	道奥正太郎
京都における「会館建築」の分布と現状	多田 有希	イタリアにおけるサッカーの社会的影響	浅野 翔也	Increasing Muslim Tourism in Japan: Potential and Prospects of Japan as a Host	柴田 茉侑
西陣京極とその周辺における映画館の盛衰	松尾 美々	現代スペイン・サッカー界の発展とその問題	岡田 雅仁		
京都（新門前）における美術店街の形成	小西 沙織	ポーランドにおける女性の社会進出	細川 晋士		
近代京都における旧市街地外縁部の変容		現代フランスの家族	白倉 知穂		
—二条城周辺と壬生界隈の比較から—	坂井 綾花	スコットランド独立問題に関する考察	伊藤紗也子		
京都・嵐山における観光地型商業集積の変容		現代日本における女性の貧困問題	金津 亜美		
—タレントショップの盛衰に着目して—	鈴木 初	（ドイツと比較して）	守山 晴香		
京都の伝統的花街「先斗町」における建物用途の変遷		（ドイツと比較して）	山本 櫻子		
—お茶屋の変化に着目して—	高木 美佳	装飾美術と現代都市生活	安部 智絵		
裏寺町における商業環境の変容	千葉さらら	クロアチアの平和	加藤 直人		
近代京都における画家の居住地選好『日本美術年鑑』（昭和13年）の分析を中心に	松村 光眞	フーリガンとサッカーの歴史的考察	伊藤 圭祐		
近代京都における近郊農村の変容		諸葛亮死後の蜀漢政権について	平湯 恵理		
—壬生を事例として—	前 侑果	財神としての関羽	吉本 愛		
説明文読解におけるアンダーライン導入の効果	金原 博洋	日本の文芸作品にみる諸葛孔明	渡邊 真帆		
中学生段階における情報モラル教育	島本 涼	（漢詩文、川柳を中心として）	中村 亮介		
大学生の朝起きに対する動機づけの効果	小池かなえ	後漢時代の袁紹軍団について	吉村 善論		
大学生における気晴らしの種類とその効果	馬場 美佐	北方謙三マンガ「三国志」における分析	谷道 巧		
		「木牛流馬」—その研究とその解釈			

